

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人 関東 インターハイ)
 試合 (決勝・準決勝・準々決勝・決勝リーグ)
 日時 5 月 21 日 日 曜日 第 4 試合 時刻 14:30
 記入者名 祐木 毅

A チーム	得点		得点	B チーム
<u>山村学園</u> 高校	<u>69</u>	(<u>53</u>	<u>正智深谷</u> 高校

戦評

第1P、両チーム共マンツーマンディフェンスでスタートする。お互いにいいタイミングでシュートを放つが決まらず、重々しい出だしとなる。アウトサイドのシュートが決まらず、ロースコアの展開となる。ようやく得点が入りだし、山村学園#15のドライブインシュート、#12のポストプレイで得点する。一方正智深谷は#6、#9のドライブインシュート、#4のポストプレイで得点し互角の戦いになる。11対11の同点で第1Pを終了する。

第2P、山村学園は#12のオフェンスリバウンドからの得点でリズムを掴む。さらに#5のドライブインからのバスケットカウントでリードする。対する正智深谷はタイミングのいいシュートを放つが決まらず、開始3分でタイムアウト。4分間ノーゴールだった正智深谷であったが、#10のドライブインシュート、#6の3Pシュートで得点するものの、その後のシュートが決まらず流れを引き寄せられない。ディフェンスも山村学園にインサイドに攻め込まれ苦しい展開となる。30対20、山村学園リードで前半終了。

第3P、山村学園ペースで試合は進む。山村学園#4のジャンプシュート、#15のドライブインシュートでリードを広げる。これ以上点差を開けられたくない正智深谷であったが、山村学園のディフェンスを崩すことができず得点できない。山村学園は#4の3Pシュートが決まり19点までリードを広げる。しかし正智深谷は#4がポストプレイで得点し何とか踏ん張る。13点差に縮めて第4Pへ望みをつなげる。

第4P、山村学園ペースは変わらない。内外バランスよく攻めて#4の3Pシュート、#15のドライブインで得点し再びリードを広げ始める。開始4分、61対38となったところで正智深谷がタイムアウト。その後、正智深谷#4、#5、#9がジャンプシュートを決め追い上げを見せる。しかし山村学園が落ち着いてこの追撃をかわして勝利し、決勝進出となった。